

講義名	健康・スポーツ関連企業分析		
科目区分	学科専門 展開		
担当教員	山口 泰雄		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科/2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・プライダルコース/2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2018年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	3年生	単位数	2 備考

主題と概要
わが国では、2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年ワールドマスターズゲームズ関西という、かつて経験したことのない国際的なメガスポーツイベントの3年連続開催『ゴールデン・スポーツイヤー』を迎える。スポーツ庁は、「第2期スポーツ基本計画」において、スポーツ産業規模を15兆円（現状の3倍）を目標に掲げ、スポーツ産業を成長産業と捉え、本格的な取り組みが始めた。健康・スポーツ関連産業は、本学学生の就職先としても益々、重要度が高まっている。本稿では、健康・スポーツ関連産業からゲスト講師を迎え、各産業の現状報告とマーケット戦略のプレゼンをベースにして、アクティブラーニングの手法を活用し、関連産業の分析を行う。

到達目標
本稿を通して、以下の4項目の到達目標にアクティブラーニングの手法によりアプローチする。 1) 健康・スポーツ関連企業に関する専門知識を習得する。 2) 健康・スポーツ関連企業に関する課題と問題意識を身に付ける。 3) 健康・スポーツ関連企業に関するマーケティング技法を学ぶ。 4) 健康・スポーツ関連企業が求める人材像と就職情報を明確にする。

提出課題
授業終了時に、その日の感想、質問、ポイント等を小レポートとして提出してもらおう。また、グループワークのプレゼン資料を提出する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
小レポート等は、評価し、次回の授業時に返却する。

評価の基準
グループワーク、レポート 50%、授業態度、質問、出席等50%

履修にあたっての注意・助言他
提出物の期限厳守、資料・書籍の通読。プレゼンにおいては、自分だけでなく、グループでディスカッションすることにより深い学びが達成される。授業計画は、進行状況により変更する場合がある。遅刻者の入室は、開始後15分以内とする。

教科書
. 使用しない。

プリント資料及び参考文献
プリント資料は必要に応じて配布する。

授業計画
1. イントロダクション（「授業計画と授業の進め方等」） 2. ケーススタディ①「事前学習の個人プレゼン」 3. グループワーク「KJ法」 4. ゲスト講師①「スポーツメーカー業界」 5. グループワーク「PDCAサイクル」 6. グループワークのプレゼン 7. ゲスト講師②「スポーツツーリズム（観光）業界」 8. グループワーク「SWOT分析」 9. ゲスト講師③「プロスポーツ業界」 10. グループ分け、プレゼン資料作成① 11-12. アシックスミュージアム見学（アシックス本社） 13. プレゼン資料作成② 14. プレゼン① 15. プレゼン②、まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）
<input type="checkbox"/> ア：PBL（課題解決型学習）
<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート
<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="checkbox"/> オ：プレゼンテーション
<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
プレゼン（グループ）においては、十分な議論を行い、パワーポによる発表を行う。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
パワーポによるプレゼン準備のために、PCルームを活用する。

実務経験の有無及び活用
実務経験あり：①スポーツイベントの運営と評価 ②市民マラソン大会の運営と評価 ③神戸スポーツ産業懇話会の運営

備考